

職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

15年8月29日

組織名 【 宮城県医療労働組合連合会 】

施設名 【 定例会 参加者 】

職場・所属 【 145名 】

【賛同者の名前やメッセージなど】



職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 9月 15日

組織名 【 宮城県医労 】

施設名 【 本部 】

職場・所属 【 書記局 】 3名

【賛同者の名前やメッセージなど】

憲法違反の法律を通すことは
法治国家を揺る行為。政府による無法行為は
許さない!!



職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 9月13日

組織名【宮城県医労連】

施設名【宮城県医労第52回定期大会】

職場・所属【 】/33名

【賛同者の名前やメッセージなど】

別紙のように

特別決議を上げました。



宮城県医労第52回定期大会 特別決議(案)

ふたたび白衣を戦場の血で汚さない！戦争法案の成立阻止のため全力を！ 日本の平和と国民主権を踏みにじる安倍政権にNO！

安倍自公政権が強行しようとしている戦争法案は、どこでも、どんな戦争にも、あらゆる形で、自衛隊がアメリカの戦争に加担できるようにする憲法違反の悪法である。宮城県医労は、国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、この法案を強行しようとする動きに強く抗議し、廃案とすることを求める。

日本は、侵略戦争の誤りを反省して日本国憲法を制定した。憲法前文は、この反省を「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないように決意し、ここに主権が国民に存することを宣言」と述べる。そして第9条は、戦争を放棄し軍隊を持たないことを世界に宣言して、平和国家としての信用を得てきた。安倍政権が行おうとしていることは、憲法の理念を否定し、まさに「政府の行為によって再び戦争の惨禍」に導くものに他ならない。

日本医労連は、「ふたたび戦場の血で白衣を汚さない」を合言葉に、平和と医療を守る課題を、最重要課題として位置付けて運動してきた。いのちを守る医療・介護・福祉労働者の使命と、人のいのちを奪い合い傷つけ合う戦争とは相容れないからである。

しかも、憲法学者の違憲との見識を否定し、法律解釈は時の政府の権限とばかりに、従来の政府の公式解釈さえ否定し、十分な国会審議さえ行わずに採決を強行しようとする、国民と国会無視の独裁手法である。また、首相自身が国会審議前にアメリカに戦争法案の成立を約束した。さらには、自衛隊統幕長が米軍司令官に対して約束するなど、国会のシビリアンコントロールすら無視した暴走が明らかになった。

戦争法案に対する世論と運動は、青年・学生・学者・有識者・文化人、子育てママとあらゆる階層に広がり続け、国会や首相官邸前での行動、全国での大規模な集会や行動となってあらわれている。沖縄の辺野古新基地建設反対の運動においても、沖縄県民と日本全国の運動の中で安倍政権を追い込んできている。

私たち宮城県医労と組合員は、この運動をさらに大きく広げ、戦争法案の廃案と、平和と国民主権を実現するために奮闘する決意である。

ここに決議する。

2015年9月13日

宮城民主医療機関労働組合 第52回定期大会

職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

15年 8月 8日

〒983-0047
組織名 【 仙台市宮城野区銀杏町39-18
宮城県医療労働組合連合会
施設名 【 TEL 022-782-0634

職場・所属 【 執委員会 120名

【賛同者の名前やメッセージなど】

戦争法案に絶対反対です。



職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

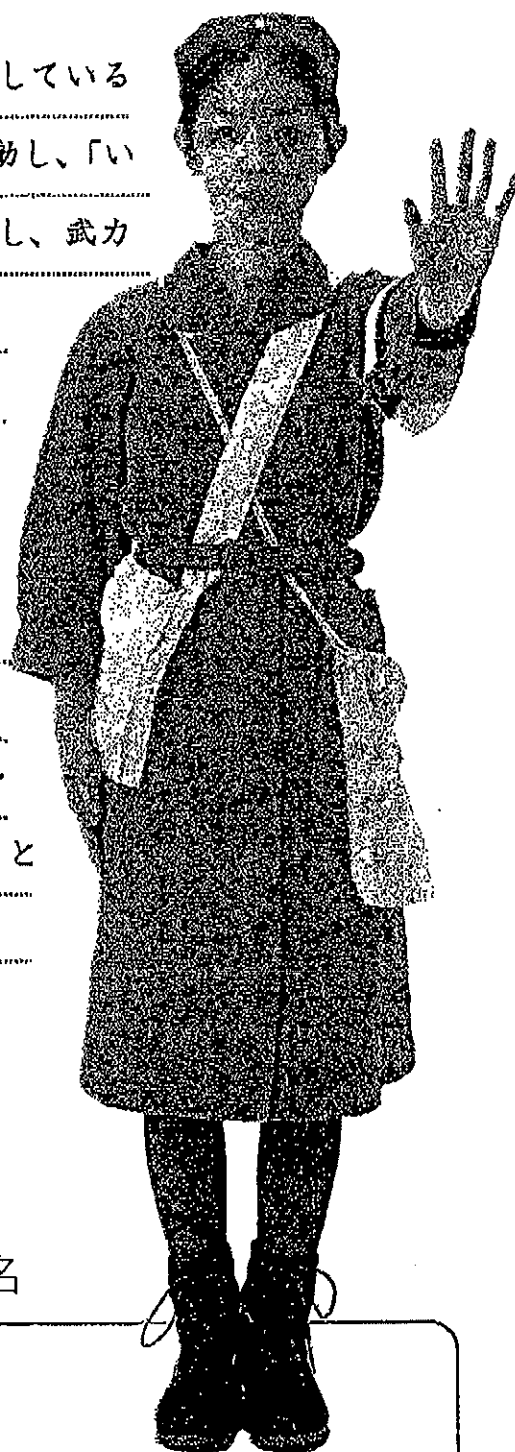
15年9月15日

組織名 【 宮城県医労連ヘルパー・介護労働組合 】

施設名 【 】

職場・所属 【 組合員 192名 】

【賛同者の名前やメッセージなど】



職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

15年9月15日

〒983-0047
組織名【 仙台市宮城野区銀杏町39-18 】

杏林会 宮城労働組合
施設名【 TEL 022-782-0633 】

職場・所属【 組合員85 】85名

【賛同者の名前やメッセージなど】



いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 8月(17日)

組織名 【 有限会社 みやぎ保健企画 】

施設名 【 セントラルキッチン 】

職場・所属 【 従業員一同 】 120名

【賛同者の名前やメッセージなど】



職場決断 (寧)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場別代表者として、

組織名 【 宮城民主医療機関労働組合 しらかし分会 】

施設名 【 セントラルキッチン 】

職場・所属 【 従業員・パート一同 5名 】

【賛同者の名前やメッセージなど】



職場決議 (案)

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の太戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産列の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場決議

組織名 【 しらかし分会 】
TEL022-766-4832・FAX022-766-4888

施設名 【 セントラルキッチン 】

職場・所属 【 SK古川職員パル 】 6名

【賛同者の名前やメッセージなど】

